

# 学習指導要領に示された本単元に関わる目標及び内容等

## 1 第5学年及び第6学年の目標

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。

## 2 内容

### E ボール運動

ボール運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

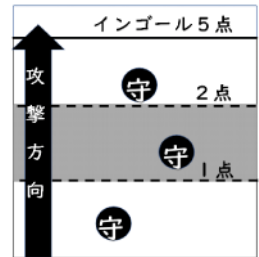
- (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付け、簡易化されたゲームをすること。  
ア ゴール型では、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをすること。
- (2) ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。

1 単元「目指せ ONE TEAM ～ボール運動（ゴール型）～」について

【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

タグラグビーでチームの得点を増やすために、体育の見方・考え方を働かせながら自己やチームの特徴に応じた作戦を選び、その意図を伝え合って吟味しながらゲームを行い、さらに得点するための作戦を考え続けている。

本単元で行うタグラグビーは、攻撃方向を一定にしたり、攻撃の人数が守りの人数よりも多くなるようにしたりして簡易化したゲームである。子供たちはチームで協力して得点を取ることができることの喜びに着目し、自分がボールを持ってトライしたり守ったりする（する）だけでなく、チームのトライ数やパスのデータを分析する（みる）ことや、仲間がトライできるように相手を引き付けたりアドバイスしたりする（支える）ことや、タグラグビーで得点するためには、それぞれが役割を果たすことが大切であることを知る（知る）ことなど、自己の適正等に応じてタグラグビーとの多様な関わり方について考えていく。その過程で例えば、「パスは得意だけど、コートの中真ん中でタグを取られてしまっているから、次に仲間が走り込むスペースが作れていない」等、自己の特徴や、「攻撃回数は多いがトライ数が少ないので、パスが正確に繋がっていない」等、チームの特徴を捉える。それらの特徴に応じて「僕はパスをするより、コート端っこラン作戦にするよ。タグを取られた後に次のパスが出せるスペースが作れるからだよ」「チームとしては、パスを正確につなげることも大切だと思うから、人と人との距離を短くしてショートパスを増やすことも必要だよ」「そうだね。ランを一番に考えながら、短いパスで攻めることも意識していこう」と攻撃の仕方を吟味しながらゲームを行っていく。勝った時も負けた時も、一人一人がチームのために役割を果たすことの喜びを味わいながら、チームが得点するためにどうすればよいか、粘り強く考え続ける子供を育てたい。



- 基本ルール
- 攻撃**
    - ・1分30秒間で一方に攻める
    - ・パスを前に投げたはけない
    - ・タグを取られたら3歩以内で止まる
    - ・タグをつけ直すまでプレーできない
  - 守備**
    - ・タグを取ったら「タグ」と言う
    - ・タグを返すまでプレーできない
    - ・タグを取られた攻撃側の人よりも前に出て守ってはけない

2 単元計画（総時数 9時間）

初めのリーグ戦のデータを基に、2回目のリーグ戦に向けてチームの課題を分析・改善する時間を位置付けることで、意欲的に課題解決に取り組めるようにする。また、ラグビーワールドカップ2019と本実践を結び付けながら、「タグラグビーの魅力を発信するリーフレット」を作成して他者に考えたことを伝える活動を、単元を通して行い、生涯スポーツとの関連を常に意識して学習を進めていくようにする。

学習の流れ及び主な子供の意識

①② タグラグビーをやってみよう	
ラグビーワールドカップ2019の動画を視聴したり、実際にゲームを行ったりしながら、攻撃側はパスを前に出してはけないことや、守備側はパスカットをせずにタグを取って守ることなどのルールを学んでいく。リーグ戦を2回行うことと、魅力発信リーフレット『ONE TEAM』を作成することを見通し、単元の学習計画を立てる。	
③～⑤ ファーストリーグで優勝するためにどんな攻撃をすればいいのだろう	
初めのリーグ戦を行う中で、ボール操作における基本的な動きや守り方、ボールを持たない時のサポートの動きなどについて知り、それらの技能を身に付けていく。	
⑥ もっと得点を増やすために、チームに合った作戦を見付けよう	本時（6 / 9）
ファーストリーグにおける「得点」「攻撃回数」「パス回数」「パス方向」等のデータを基に、自己やチームの特徴を捉え、その特徴に応じた攻撃の仕方を話し合いながら練習試合を行う。	
⑦～⑨ 仲間と協力して、セカンドリーグ優勝を目指そう	
2回目のリーグ戦を行い、どのように攻撃を行えば得点に繋がったのかを振り返り、学習のまとめをする。単元終了後の国語の時間には、各時間に蓄積してきた記事を、リーフレットにまとめ、全校生や保護者等に発信していく。読者に、タグラグビーを身近に感じてもらう経験を通して、運動やスポーツへの関心をさらに高める。	

### 3 本時について

目 標	「得点」「攻撃回数」「パス回数」「タグを取られた位置」等のデータを基に、自己やチームの特徴を捉え、どのような作戦で攻撃すればよいかを伝え合うことを通して、得点を増やすための作戦を選ぶことができる。
--------	--

	学習活動	主な子供の意識	
課題設定以前		もっと得点を増やすために、チームに合った作戦を見付けよう	
	1 学習課題を確認する。 【Planningタイム・PDCA課題解決サイクル】	セカンドリーグに向けて、作戦を考える時間にしたいな。 次も優勝できるように、動画のようなトライを、増やしていきたいね。 もっと得点を増やすために、自分のチームに合った作戦を考えたいな。	
課題解決中	2 データを基に自己やチームの特徴を捉え、作戦について話し合う。 【DOタイム・約束事掲示板】	作戦を考えるためには、まず、試合のデータから自分やチームの課題をつかむことが必要だよ。 攻撃回数は他のチームより多いけど、トライ数は少ないね。 パスの失敗が多いのが課題だよ。タグを取られた後にパスをいい位置でもらえていないのが原因かも。 端っこに走ることを第一に考えながら、短いパスを繋いでいこう。 僕はタグを真ん中で取られることが多いから、できるだけ端の方に走り込むよ。 私はタグを仲間が取られた後、できるだけ素早くパスをもらえるように近くを走るよ。	
	3 練習試合を行う。	タグを取られる位置が端になったから、次の攻撃が続けやすくなったね。 この調子で連続攻撃をしていけば、確実にトライまでいけそうだよ。 この練習で見付けた作戦を生かして、セカンドリーグで得点を増やそう。	
課題解決後	4 本時の振り返りをする。 【Check/Actionタイム・魅力発信リーフレット】	今日もタグラグビーの魅力を見付けられたよ。「する」「みる」「支える」「知る」の観点で記事を書いて、次の時間の改善策を考えよう。 試合を見ていたら、Aさんが作戦通りにトライすることができたから続けていきたいな。 リーフレット『ONE TEAM』で発信できるタグラグビーの魅力がたくさん見付かったね。次の試合でもチームワークを大切に勝てるように頑張ろう。	
		Bさんがサポートに動いて支えてくれたから、次は僕もチームメイトをサポートしたいと思ったよ。	

評 価	データを基に自己やチームの特徴を捉え、その特徴に応じて、ボール保持者としての攻撃の仕方や、ボールを持っていない時の攻撃の仕方などの作戦を選び、考えの理由を仲間に伝えている。 <span style="float: right;">【方法：発言・様相・記述】</span>
--------	--

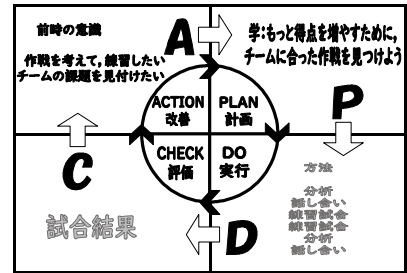
#### 4 メタ認知・教科に関わる子供（34名）の実態と働きかけの詳細

- 課題設定以前…授業の始めに、本時の課題について考えていないと感じている。（11名）
- 課題解決中 …解決方法を確認めたり、他の方法を試したりしていないと感じている。（17名）
  - 試合中、友達が楽しめているかを考えないなど、周りが見えなくなる。（16名）
- 課題解決後 …友達に考えを伝える時に、書いて伝えることが得意だと感じている。（17名）
  - 話して伝える方が得意だと感じている。（17名）

#### 働きかけの詳細

##### 学習活動1 【Planningタイム・PDCA課題解決サイクル】（2～9時間）

導入でファーストリーグの好プレイを集めた動画を視聴させ、既習事項を想起させる。その後、前時の終末に設定している、本時45分で解決したい学習課題を確認する。そして、「どうしてこのめあてにしたのかな」と問うことで、課題設定の理由を表出させていく。その際、右図に示すPDCAサイクルのAction部分を指しながら、「次は、各チームの課題を見付けたい」「もっと点を取るために、攻撃の練習が必要」などの前時の意識を再確認する。そうすることで、各チームの特徴に応じた作戦を考えていくという課題の妥当性を感じられるようにし、次のDOタイムに繋げていく。

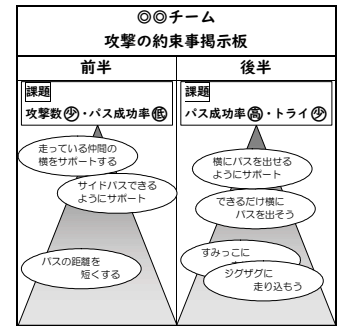


【PDCA課題解決サイクル】

##### 学習活動2 【DOタイム・約束事掲示板】（3～9時間）

##### 学習活動3

データを分析し、作戦を話し合ってから練習試合を行うという、解決の見通しをもたせる。まず、「得点」「攻撃回数」「パス回数」「パス方向」等の試合データを基に、自己やチームの特徴を具体的に捉えていく。主には「攻撃回数が多いのにトライ数が少なく、パスが繋がっていない」「サポートが遅く、パスが後方に出ている」等の課題が浮き彫りになるだろう。それらの課題を解決するために作戦を各自で選んでいく。そして、それぞれが考えた作戦がどのようなものかを見えやすくするために、右の掲示板に、各自が選んだ作戦を書いて貼り付けていく。その後、それぞれの作戦を基に、攻撃する際の約束事を、話し合いながら吟味していく。どの作戦がチームの特徴に合っているのか順位付けする過程で、互いの考えの共通点や相違点に着目しながら、自分の考えを再考し、よりよい作戦についての考えを深めていけるようにしたい。



【約束事掲示板】

対話を行う際、書いて伝えることが得意な子供には、事前に配布しているコート図に矢印等を書き込むことで伝えてもよいことを助言しておく。話して伝えるのが得意な子供には、カードに短い言葉だけ書いた後、補足説明を口頭で行うとよいことを助言しておく。

攻撃の約束事を共有できたら、ファーストリーグで1位と2位のチームは1試合、その他の3チームは2試合の練習試合を確保する。「約束事掲示板」はスタート位置に置いておき、必要な時に確認できるようにしておく。試合中は、課題解決後の振り返り場面や、次時のPlanningタイムで用いられるように、動画撮影や「得点」「攻撃回数」「パス回数」「パス方向」等のデータを取っておく。

##### 学習活動4 【Check/Actionタイム・魅力発信リーフレット】（1～9時間）

発信したいと感じたラグビーのよさについて「する」「みる」「支える」「知る」の観点ごとに振り返っていく。各観点を色分けした付箋に書かせることで、教師評価をしやすくしたり、国語の授業でリーフレットを書く際に内容を精選しやすくしたりしておく。特に本時では、「〇〇さんがスペースを見つけて、かっこよくトライできていた」「〇〇君がサポートしてくれたから、トライができるようになった」等、「みる」「支える」の観点で仲間と協働することのよさに気付いていこう。それらのよさを全体場で表出させ、PDCA課題解決サイクルのCheck・Action部分に板書する。その後、「次の時間、どんなことを考えながらセカンドリーグを戦いますか」と問うことで、もっと仲間と協力して試合に臨みたいという気持ちを表出させてAction部分に板書し、次時の課題設定に繋げていく。